

# 総合患者支援センターニュース

Integrated Support Center for Patients and Self-learning  
Okayama University Hospital



〒700-8558

岡山市鹿田町2丁目5番1号

岡山大学病院

総合患者支援センター

☎ 086-223-7151 (代表)

☎ 086-235-7744 (直通)

センターの日常的活動に関しては

ホームページ

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp>

## 5年目を迎えたセンター活動

総合患者支援センター長 公文 裕巳

平成15年に設立された総合患者支援センターは、本年4月で5年目を迎えることになりました。この間、センターの活動と組織体制は徐々に充実し、今では岡山大学病院になくてはならない幾つかの機能を担うまでに成長しています。関係各位、センターの職員はもとより、活動を実質的に支えて下さっている多くの一般ならびに職能ボランティアの方々に心より御礼申し上げます。



本センターの構想は、現在2期工事が進み来年4月に全面オープンとなる新(南)病棟計画が本格化した平成10年から検討してきたものです。この10年間に医療を取り巻く環境は大きく変貌をとげ、大学病院をはじめとする地域の中核病院を含めて個々の医療施設の機能や役割についても抜本的な見直しが必要となっています。平成16年度よりの国立大学法人化と卒後臨床研修必修化は、少子高齢化と国の財政基盤の悪化を背景とする国の医療制度改革とともに、大学病院の運営と人材育成のあり方そのものにも大きな影響を与えつつあります。10年前にここまでの環境変化を想定していたということはありませんが、医療の主役は患者様であり、その目線に合わせて「私たちは、患者様に最良の医療とケアを提供するために活動します」という本センター基本姿勢と各種の支援事業の方向性は時代の要請とも一致していたと思われまます。

一方、平成17年から遅れてスタートした地域医療連携室活動も軌道にのりつつありますが、病院の機能分化と地域連携の強化による地域連携クリニカルパスの運用支援も次の大きな課題と考えられます。また、昨年6月に成立した「がん対策基本法」に基づき、岡山大学病院が都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、10月に「腫瘍センター」が開設されています。これにともない医療ソーシャルワーカーと臨床心理士の各1名が増員され、「心のケア」を含めた支援体制の構築がスタートしたところです。男性の半数、女性の3分の1ががんに罹患する時代における、包括的、継続的支援策の充実も喫緊の課題といえます。

専門化した現代医療は多職種の医療者チームで実践されていますが、地域医療連携、医療からケアへの橋渡しを考えると、更に大きなチームでの連携が必要になります。患者様と医療者をつなぐ医療ボランティアの輪の拡大とともに、センタースタッフの更なる充実が望まれるところでありまます。5年目を迎えたセンターとして「支援の広がり」と「質の向上」を標語として活動に取り組んでいきたいと考えています。皆様方のご支援をお願い申し上げます。

摂食・嚥下リハビリテーション診療室のご紹介

特殊歯科総合治療部 歯科医師 石田 瞭

当院中央診療施設の一つである特殊歯科総合治療部に摂食・嚥下リハビリテーション部門が開設されてから、この春で5年目を迎えました。スタッフは歯科医師2名でばたばたしておりますが、外来、院内往診を軸に、隔月のカンファレンスや毎週木曜日の症例検討会での情報交換、外部向け研修など活動も広がって参りました。

さて平成19年4月、歯学部1階に『摂食・嚥下リハビリテーション診療室』が新たに開設され、稼働開始しております。

摂食・嚥下の訓練、指導にあたり、まずは実際に食べる場面を観察することが非常に重要です。できるだけ普段と同じように食べていただくことが望ましいのですが、特に外来に多い小児の患者様は、診療室であるというだけで緊張してしまいがちです。リラックスでき、安心して食べることに集中できる環境を整えることが必要になります。そこで、新設の摂食・嚥下リハ診療室には、畳敷きの部屋を設けました(写真1)。ここでは主に抱っこや座面、子供用の椅子などで食事をしているお子様の指導・訓練を行って



(写真1) 指導・訓練室



(写真2) 座位保持椅子をご使用の患者様の食事スペース

います。また、成人や座位保持椅子で食事をしている患者様には、そのまま食事をしていただけるスペースも設けています(写真2)。専用の部屋であることもあり、人の往来も少ないため、どちらも静かで食事に集中しやすい環境となっております。

当診療室はまだ出来たばかりで設備の充実を図る必要がありますが、患者様に適切なリハビリテーションを行うことができ、リラックスできる空間になればと考えております。

スタッフも、新たな診療室で気分も一新し、更に努力してゆく所存です。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

お問い合わせ：特殊歯科総合治療部(086-235-6817)まで

当院では病院ボランティアの方に「ボランティア研修会」を開催しています。この度、医療安全管理部の足羽孝子師長を講師に「心肺蘇生法」の実習を行いました。

救急講習会の研修を受けて(感想)

病院ボランティア 原田 一則

心肺蘇生法とかAEDの使い方とか漠然と聞いたことがありテレビ等で見たことがあるというぐらいで、AEDを実際に見たのは初めてでした。講師の説明の後、実際に人が倒れる状態の寸劇を見たりしながら、私達ボランティアも人形を相手に大きな声で、「大丈夫ですか！誰か119番通報をしてください！AEDを持って来て下さい！」などと叫び、気道を確保し呼吸をしていないことを確認し、人工呼吸・胸骨圧迫・AED装着・心電図解析等訓練しました。病院ではボランティアの活動する間もなく看護師さんが実働されるでしょうが、現実街中で突然目の前で人が倒れたら、などと考えると、果たして自分が行動できるだろうか不安を覚え、あと何度か講習を受ける必要があると痛感しました。



医療安全管理部 足羽孝子師長



病院ボランティアに関するお問い合わせ：総合患者支援センター(086-235-7744)まで

## 情報コーナーのご案内

西病棟から南病棟にかけて、情報コーナーを設置し、患者様向けの医療情報の掲示、関連用具の展示を定期的に行っています。

今期間は、医療安全管理部による『ME 機器センターと医療安全』がテーマです。

### ME 機器センター 紹介

ME 機器センターでは、臨床工学技士という国家資格を有する技士が業務を行なっています。医療の進歩とともに、医療機器の構造や操作は高度かつ複雑になっています。そのため、私たち臨床工学技士は、院内で使用されている様々な医療機器の保守管理、機器の取扱いに関する技術支援やスタッフ教育を行なっています。

#### 【ME 機器センター業務】

- ◆機器管理業務（機器の貸出・返却、適正配置）
- ◆保守点検業務（始業点検、使用后点検、定期点検、修理）
- ◆診療支援業務（血液浄化療法業務、人工呼吸器管理業務）
- ◆教育活動
- ◆医療安全への取り組み



私たちは、医療機器の安全性の向上に努め、患者様が安心して治療に専念できるようにしたいと思っています。

現在、情報コーナーに「ME 機器センターと医療安全」について掲示しています。また、ME 機器センターホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp/user/me/>) にも、スタッフ、業務内容を紹介していますのでご覧ください。

## こころのケア (Vol. 8)

副センター長 岡田 宏基



### 内を向く心、外を向く心

皆様はご自分の心が内と外どちらを向いているか、お考えになったことがあるでしょうか。内を向くというのは、自分自身の外見と内面とに関心を持つということです。内面への関心というのは、自分の言動を振り返ることということで、良い意味では内省心があるということになります。この内省心がなければ精神的な成長が不十分となるのですが、中には内省心が強すぎて必要以上に考え込んでしまう方や、人が自分をどう見ているのだろうかとひどく気になってしまう方があります。自分の言ったことが人に不快な感じを与えているように思う、と言われる患者さんが時にあります。では、相手のどんな表情や態度でそう感じたのですか？ と聞くと、わからないと答えられる。自分が話す内容に気を取られる余り、相手を観察していないのです。ここが問題ですね。話す相手をよく見ていれば、自分の言動がどう受け取られているかが、相手のちょっとした表情や仕草でわかるものなのです。心が内に向かいやすい人は、このように外に目が行かずに、自分の中だけで判断をしてしまうので、本当はどうか、という判断材料がなく、その結果思い悩むことになるのです。周囲の人をよく「見て」、しかも良い所を見つけるように心がければ、心は自然と外を向き、自分に対する過剰な想いから解放され、またその良い点を人に伝えて差し上げるようにすることで、周囲の人とのコミュニケーションもまた良くなっていくのです。

## 歯の衛生週間

# 『元気ですか？あなたのお口』

**開会式**  
時間: 9:50~  
場所: 歯学部棟3階 診療計画室

**ミニ公開講座**  
場所: 歯学部棟3階 診療計画室  
10:00 「これ以上歯を失わないための  
口腔インプラント治療」  
補綴科(クラウンブリッジ) 荒川 光  
11:00 「歯並びと歯の健康」  
矯正歯科 出口 徹  
13:00 「歯周病ってなあに？」  
歯周科 岩本 義博  
14:00 「口の粘膜にできる病気」  
口腔外科(病態系) 目瀬 浩

**歯科衛生士による  
子供さんへのフッ素塗布**  
時間: 10:00~12:00  
場所: 歯学部棟1階 地域医療支援室

**歯科衛生士による体験ブラッシング**  
時間: 13:00~15:00  
場所: 歯学部棟1階 地域医療支援室

**お絵かきコンテスト表彰式**  
場所: 医科外来受付付近

平成19年6月7日(木)  
場所: 岡山大学病院  
全て参加自由・無料です!!

**診療風景パネル展示**  
期間: 6月1日(金)~6月29日(金)  
場所: 医学部棟歯学部棟連絡通路

**歯科看護師による  
お口の相談コーナー**  
時間: 10:00~12:00 13:00~14:30  
場所: 西病棟1階 地域医療連携室

**歯科技工士による  
最新の歯科技工物の展示**  
時間: 10:00~14:00  
場所: 医科外来受付付近

**食事がしづらい方への補助食品  
試食・説明会**  
時間: 10:00~15:00  
場所: 医科外来受付付近

**チェロとピアノの生演奏**  
時間: 15:00~16:00  
場所: 歯学部棟2階第一会議室  
チェロ奏者 三船 文彰 先生  
ピアノ伴奏 荒木 渉 先生

お問い合わせ先 235-6787 総合歯科 三浦

南病棟横(西側)の花壇が  
見ごろを迎えています



ボランティアの方が丹精こめて  
育てて下さっています。

## 新スタッフ紹介

4月1日付で、総合患者支援センターに所属になりました日高千陽と申します。この度、岡山大学病院が、がん拠点病院になり腫瘍センターのスタッフの一員としても、患者さんの療養上の問題を生活者の視点を大切に取り組んでいきたいと思ひます。

また、多職種からなるチームの中でMSWとして、何を求められ、何を必要とされているかをしっかりと察知する力を養う努力をしていきたいと思ひます。

まだまだ、不慣れな点が多々あると思ひますが、よろしくお願ひ致します。



1月16日に着任しました臨床心理士の野口と申します。

患者様のために診療に関わる不安や悩みなどに専門性を活かし対応していきたいと考えています。徐々にその心理職としての職業的認知度も含め、相談体制作りを皆様のお力添えのもとしていきたいと思ひます。まだ相談体制が十分に整っておらず、不慣れな点も多々あり皆様にご迷惑かけることもあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願ひします。



4月より事務の角木係長の後任で参りました池尻と申します。昭和37年4月生まれで、広島県比婆郡東城町出身です。平成元年に岡山大学に採用され、平成7年からは外来係・患者係・中央診療事務係・医事係を経験し、平成16年4月から3年間、鳥取県の三朝町にあります三朝医療センターに勤務していました。最近ブルーベリー栽培にハマっています。病院の重要な役目を担う総合患者支援センターの一員となれたことを喜んでます。一生懸命がんばりたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

